

JIS A 6916



JTCCM

認証番号

TC 08 08 131

カチオンプラス#2

【一材型】カチオン性下地調整塗材
(ポリマーセメントモルタル)

JIS A 6916(CM-2) 認証製品

荷 姿



20kg紙袋

適用塗厚

1.5~3mm

標準施工面積

7.5m²/袋
(塗厚:2mm)

特 長

- 高性能な再乳化型粉末樹脂を配合していますので、各種下地に対する接着性に優れ、耐久性に優れます。
- 規定量の水道水と練り混ぜるだけで簡単かつ高品質な材料を安定して作る事が出来るので品質管理が容易で経済的です。
- 紙袋の為、廃材の処理がしやすく現場の環境負荷低減にも貢献します。
- 作業性が良く、施工効率が向上することで工期短縮が図れます。

製品仕様

下表以外の適用につきましては、お問い合わせください。

適用下地	コンクリート、モルタル、ブロック、PCパネル、ALCパネル、既存タイル施工面等
適用部位	内外装壁面、内外装床面、手摺天端、天井
適用化粧材	吹付材、モルタル、タイル、防水材

適用下地の詳細

① 最適な地 ※1 下	コンクリート、モルタル、ブロック、PCパネル、ALCパネル、磁器質タイル、せり器質タイル、陶器質タイル、ガラスモザイクタイル、大理石、御影石、人造石研ぎ出し、セメントリシン、アクリル系吹付タイル
② 許容できる地 ※1 下	ウレタン防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用接着剤、塩化ビニルシート防水用接着剤、鉄板、アクリル系吹付タイルトップコート、エポキシ塗床、アクリルリシン、ウレタン防水トップコート
③ 確認を要する地 ※2 下	アスファルト防水、アスファルト防水用プライマー、スタッコ
④ 非推奨の地 下	現場発泡ウレタン、アルミニウム、ステンレス、ウレタン塗床、塩化ビニルシート、加硫ゴムシート、FRP防水

※1 よく接着しても下地の母材強度が弱い場合、下地を引き起こすことも考えられるので、下地が健全であることを確認してください。
※2 試験塗りを行い、接着性を確認してください。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	JIS A 6916(CM-2) 品質基準
軟度変化 [%]	12.9	-20~20
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れがない
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれなし	ひび割れ及び剥がれがない
曲げ強さ [N/mm]	8.1	5.0以上
圧縮強さ [N/mm]	23.0	10.0以上
付着強さ [N/mm]	標準養生	2.3
	低温養生	2.2
吸水量 [g]	0.5	2.0以下
透水量 [ml/h]	0.1	0.5以下
長さ変化率 [%]	-0.13	0~-0.15
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 [N/mm]	外 観	割れ、膨れ及び剥がれなし
	付着強さ	1.4
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性 [N/mm]	付着強さ	2.0
		0.6以上

各種下地に対する付着強さ試験

適用下地区分	下地の種類	付着強さ [N/mm]	
		標準付着強さ	温冷繰返し10サイクル後の付着強さ
①	コンクリート板	2.2	2.2
	磁器質タイル	2.7	4.8
②	鉄板	1.4	1.0
	ウレタン防水用プライマー	1.6	2.2
	アクリルリシン	1.9*	2.3*
	エポキシ塗床	1.9	2.4
	ウレタン防水トップコート	1.9	3.7
③	アスファルト防水用プライマー	1.4	2.9

養生条件 ① 標準付着強さ：20℃、80%R.H.で2日間静置後、20℃、60%R.H.で12日間養生

② 温冷繰返し後：標準養生後、温冷繰返し10サイクル (20℃水中18時間浸漬 → -20℃の恒温器で3時間冷却 → 50℃の恒温器で3時間加熱を1サイクルとする)

※ … 下地の母材破壊

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1004023
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

施工方法

清掃（補修）

脆弱な旧仕上材、下地の脆弱層、レイトンス、油脂、汚れ等はワイヤーブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗いまたは高圧洗浄を行ってください。

※浮き、剥落の原因となりますので下地の清掃は入念に行ってください。

吸水調整

コンクリートやモルタルなど吸水のある下地の場合は、吸水調整材ユニレックス3を水道水で3倍に希釈したものを施工面に塗布して吸水調整を行ってください。

ブロックやALCパネル等、吸水の激しい下地の場合は、ユニレックス3の5倍希釈液を塗布後、乾燥を待ってもう一度塗布してください（2回塗り）

※ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整する為に希釈倍率は厳守し、ムラ無く丁寧に塗布してください。

※ブロック等、下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

調 合

下図の通りに調合し、モルタル用かくはん機等で練り残しのない様によく混練してください。

※強度低下の原因となりますので、粉体と水道水の調合割合は厳守してください。

※練置きは夏期40分、冬期60分以内とし、練足し、水を加えての練り戻しはしないでください。



(一社) 公共建築協会
建築材料等評価名簿掲載材料
吸水調整材 (モルタル用)
ユニレックス3
[18kg/缶]
塗布型吸水調整材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)

塗 付 け

コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗付け後、所定の厚さになるように塗付けてください。仕上材の種類によって、金ゴテ押さえ等を行ってください。

※浮きや剥がれの原因となりますので所定厚以上の塗付けはしないでください。

養 生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行ってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合もシート掛け等の養生を行ってください。

※強度が出ないおそれがある為、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生を行ってください。

※初期の雨掛かり等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生を行ってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業を行ってください。

※仕上材の浮きやはがれ、剥落の原因となりますので塗付け後、仕上げまでの養生は夏期24時間以上、冬期72時間以上としてください。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃してください。
2. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行ってください。
4. カチオンプラス#2の保管は、湿気・通風を避ける場所にしてください。
5. 固まったものの使用は避けてください。
6. カチオンプラス#2には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
7. カチオンプラス#2硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意してください。
8. カチオンプラス#2の品質保持期間は製造後6ヶ月です。



カチオンプラス#2は安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20260407.23